

平成 28 年度「学生の要望に関するアンケート」の結果と対応について

標題の件につきましては、福山大学の学生に対して、平成 28 年 10 月 31 日～11 月 21 日に Office365 を通じてアンケートを実施し、計 495 名からの回答を得ました。回答率は 14.76% でした。アンケートでは、各質問項目につき、満足(4 点)、やや満足(3 点)、やや不満(2 点)、不満(1 点)の 4 段階で評価して頂きました。各項目の評価の平均点を見ると、学習施設、アメニティー、移動・交通手段、衛生面、体育・文化施設(サークル活動に係るもの)の全てのカテゴリーについて、平均点はやや満足(3 点)を上回っていました。しかしなが

ら、個別の質問に対する自由記述欄には、(1)Wi-Fi、(2)食堂、(3)コンビニの利用、(4)スクールバスの利用、(5)トレーニングルーム、(6)大学施設に関して、不満・やや不満と答えた回答が少数ありました。これらの当該学生が自由記述で記述した不満内容については、解決を図るべく対応していきたいと思えます。そこで、学生委員会としましては、大学関係者と共に内容を吟味するとともに、必要に応じてそれぞれの事案に関係した業者の方々と相談、あるいは改善を見据えた要求を行うと言った対応を取ることとしました。

(1) Wi-Fi



Wi-Fi に関しては、無線 LAN の接続の悪さを指摘する声が目立っていました。そこで、大学の関係部署に事実関係を調査し

ました。Wi-Fi スポットは、平成 27 年度末には、学内に 201 カ所設置され、ほぼキャンパス全域がカバーされました。さらに、28 年度末までには 33 カ所を新たに設置し、合計 234 カ所への設置となる予定です。大学の関係部署からは、このように、すでに学内全域をカバーできるだけの Wi-Fi スポットが設置されており、電波強度も十分な強さのものになっているとの回答を頂きました。

特記すべきこととしては、各個人の端末機器の電波形式がマッチしなかったり、各研究室で設置した個別の無線 LAN と Wi-Fi スポットとの電波干渉が生じたりすると、「Wi-Fi につながりにくい」状況が生じることもあるとのことでした。この点につきましては、学内にそうした状況の場所がないか、今後、共同利用センターとも連携して調査を行う予定ですが、もしつながりにくい状況に遭遇した場合は、場所、時間、使用端末ならびに設定状況等を報告してください。状況のさらなる把握に協力をお願いします。

(2) 食堂



食堂については、27 年度のアンケート結果から、量が多いとかやや揚げ物が多いという声が多くありました。そこで、食堂と協議

して、和定食(第一食堂)とハーフサイズメニュー(第二食堂)を新たに設定していただきました。しかし、協議の中で、これらのメニューの利用状況は低調(1日に約 5 食以下の販売)とのことでした。引き続き食堂側も利用者の意見を踏まえて、多様な嗜好に対応でき

るよう、メニューの改善に向けた検討を行うとのことです。なかでもフェアの期間を設けてシーズンメニュー的な展開を図るとの企画があるようですので、今後の展開を期待したいと思います。さらに、28年度のアンケート結果から、「値段が高い」とか「昼休みに食事が摂れない」という声を聞きました。そこで、他大学の学生食堂を見学し、運営の仕方等を比較検討しました。環境や事情の違いもあり、本学へ即座に導入し状況を改善できるものと、これから時間をか

けて改善していくものがあると考えています。食事の値段に対しては、福山大学の食堂はよく企業努力を払って頂いており、他大学に比べて決して高い訳ではありません。運営上の問題については、昼休みに混み合う事へは、弁当の販売やコンビニとの連携等があると考えています。昼休みの時間内に、食事が食べられないという事は出来るだけなくなるように努めます。利用者の満足度を向上できるよう、今後も食堂側と協議を行い、できる限り改善を図っていきます。

(3) コンビニ



平成29年4月からコンビニは新しくなります。コンビニ店舗内の改装、開店時間の延長、お弁当、おにぎり、パン、飲料水の他、レンジ麺、寿司、パスタ、お好み焼き、サラダ、カウンターフーズ(フライドチキン等多彩な揚げたて商品)等品数のさらなる充実を図ります。

さらに、お昼時間を中心としたコンビニ内の混雑を解消するためにレジを増設し、また、イートインコーナーのテーブル・椅子を更新し、その数も増やすことで学生並びに教職員の利便性の向上を図り、満足度アップに対応していきます。

(4) スクールバス



スクールバスについては、バス利用時の乗車混雑の件(特に8時30分頃)に対しては、不満の声が沢山聞かれます。そこで、大学としても、まず、スクールバスの運行台数を11台から12台に増やして対処しています。しかしながら、朝のラッシュ時は、バスの乗車だけでなく、松永のバス停での乗車待ちによる混雑も加わってきているのが実態です。このようにここ数年来スクールバス利用者が増加している現状を踏まえ、増便などさらなる利便性の向上を検討して行きます。ただ、ラッシュ時は最大輸送力を十分に発揮しないと、人為的な輸送力の限界がきてしまいます。ラッシュ時においては、全員を講義に間に合うようにするためにも、バス内がほぼ満員状態となる事についても理解をお願いします。バスの乗車定員については、バス会社の担当者に確認したと

ころ、バスによって多少の差はありますが、1台につき75人から81人とのことです。座椅子は40人程度ですので、30人程度は立って乗車することになります。よって、朝の混雑時には、バスの入り口付近に立ち止まらず、できるだけ奥に詰めて定員近くまで乗れるように同じ大学の仲間として“協力し合おうという意識”をもった対応をお願いしたいと思います。そうすることによって、バス利用者の全員が遅刻することなく、大学へ到着できると思います。乗車時間は、10分~13分程度ですので協力をお願いします。

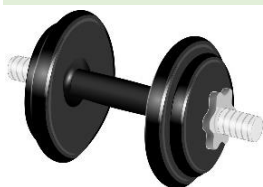
また、運転が荒い、言葉がきつい等の声もあがっています。これもバス会社の担当者と話し合いました。普通に運転手から話しかけても、イヤホン等をつけていると、聞こえないのか、ほとんど反応しないとのことで、つい大きな声になってしまうこともあるとのことでした。学生は安全運行上必要な事項の伝達等に対して聞き取り、かつ反応できる体勢を維持するようにして下さい。また、言葉遣いにしても相互に相手の気

持ちを気遣いながら、話し合えるようお願いいたします。

鉄道との乗り継ぎについても少数ではありますが、不便との声が出ています。JRのダイヤとの兼ね合いでは、福山駅等での乗り継ぎ等、複雑で多様な検討すべき条件もあります。また、上り・下り便への接続対

応にも一長一短があると同時に、ダイヤの変更によって他への影響も出てきます。当面は、現行ダイヤを継続して状況を見定めようと思います。運行ダイヤについてはさらに、利用者也交えて、検討してみる方法も模索できればと思っています。

(5) トレーニングルーム



トレーニングルームについては、衛生面の改善を、学友会を中心に利用者・部活の担当者と協力して清掃を行い清潔な環境にしていくことを提案します。また、利用者の範囲を拡げ利用率を増加させることで、大学としてもエアコンの導入等設備環境の向上への設備投資の可能性が高

まります。また、使用中に誤って設備備品を破損するあるいは汚してしまう等のこともあるかとは思いますが、その際は今後の使用者のためにも、学生課へ破損あるいは汚染の状況を迅速かつ正確に届け出ることが大切です。利用者には、使用マナーを守って多くの人が心地よく利用できるよう協力をお願いします。

(6) その他施設

その他の大学施設についても、施設の改修・充実に取り組んで行きますが、教職員や学生諸君においても、ゴミ分別の励行や、掃除・ゴミ拾い等のボランティア活動への参加に取り組んで頂くなど、教職員と学

生が共同して快適な大学生活が送れるよう努めて頂きたいと思えます。前回のアンケートでもお願いしましたが、引き続き、人を大切に、物を大切に、元気の出る大学にしていきたいと思います。

